

# yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より  
パソコン室から 不定期 発行

No. 29

平成19年6月28日  
情報教育アドバイザー  
広田 さち子

## デジカメのメディア

メディア、というのは、デジカメの写真を記憶しているカードのことです。広くは、CDや、USBフラッシュメモリなど、データが保存できるもの全般を言いますが、ここではデジカメの話をしていきます。

デジカメのメディアには、XDカード、SDカード、その他、たくさんの種類があります。メディアから直接写真の印刷ができるプリンタも登場しましたが、いったんパソコンに取り込んでから加工したり文書に挿入したりして使うこともできます。むしろ、こちらの方が多いかもかもしれません。

デジカメには専用のソフトがついていて、カメラをケーブルで直接パソコンに接続することでこのソフトが起動し、パソコンに写真を取り込みやすくなっています。

ふつうは、このソフトを終了すると、カメラは「リムーバブルディスク」となって、パソコンからは、よく使われているUSBフラッシュメモリなどと同じに見えます。

また、カードリーダーなどを使ってパソコンにメディアだけを接続すると、やはり「リムーバブルディスク」になります。

こうなると、つい、このメディアの中に、たとえばワードなどの文書ファイルを保存したり、写真ファイルの名前を変えたり削除したり、フォルダを作って整理したりしたくなります。

しかし、このメディアは、カメラが写真を保存するように管理しているので、もしその中をパソコンを使って(カメラの外で)変えてしまうと、カメラに戻したときに管理できない領域になります。使えるはずの領域が使えなくなっていたり(もっと撮れるはずの写真が保存できない)、あるはずの写真がなくなっていたり、カメラがメディアを操作しようとしたときに迷子になります。逆に、保存可能な領域のはずが、そこに文書ファイルがおかれていたら、それが壊れてしまうかもしれません。カメラの中のデータは、カメラで操作しないといけません。

こういうふうに、カメラからメディアが読み取れなくなったら、初期化(フォーマット)するしかありません。

初期化も、もちろんカメラ本体で行わなくてはなりません。

デジカメは便利ですが、カードも大変大容量になって、たくさんの写真が保存できるようになりましたが、デジタル機器はナイーブです。お作法を守って快適に使いましょう。